

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の 特徴	H24年5月に開設。1階に小規模、サテライト型特養、地域交流スペース、キッズルームが併設されている。地域の方も気軽に利用できるスペースがあり、フリーカフェを行なっている。地域の中の施設としての特性を活かせるよう、利用者の想い、希望、ご家族や多職種との連携を図りながら、生活が継続できるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能型居宅介護川崎	管理者	中野 晃彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	3人	1人	1人	1人	1人	2人	0	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>●「情報シート」の活用について、ミーティングでのモニタリング時に見直しを行い、情報の更新・共有し統一したケアに努める。</p>	<p>●毎月のミーティングで、情報シートの見直しを行い、新しい情報の更新・共有に努めた。しかし、情報シートの情報が古いものが多く、更新日の日付がないため新しい情報なのか分かりづらいところがあった。</p>	<p>●定期的な情報シートの見直しによりスタッフ全員が情報の更新や共有に努めていると思う。</p> <p>●利用者の情報は変化していきます。継続的にチームで取り組むことがチーム力やサービスの質の向上に効果的だと思う。</p> <p>●課題についての取り組みが具体的に記されていると思う。</p> <p>●質が問われる今、質向上に向けて頑張っている姿が見える。</p>	<p>●「情報シート」の活用について、ミーティングでのモニタリング時に見直しを行い、情報の更新・共有し統一したケアに努める。また、更新した情報がひと目で分かるように工夫する。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

●新型コロナウイルスの感染状況や感染防止対策の状況により、センター内(地域交流スペースやキッズスペース)の活用が難しい為、状況に合わせたPRポスターの作成、回覧での情報発信を継続する。

●中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用して頂けるよう季節に応じた植物を植える(設置する)。

●センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペースの空間を活用し創作品の展示を継続する。

●センターのPRとして、川崎新聞での情報発信を継続して行った(年6回の配布を予定。1月現在は5回配布。)。また、今年度より、地域の方が知りたいであろう情報の発信や、登の会の脳トレコーナーを設けるようにした。

●休憩所として活用して頂けるよう、中庭の桜の木の下にベンチを2つ設置した。ヒマワリなどの季節の植物を植え、利用しやすいように図った。

●地域交流スペースの柱や壁に、季節に合わせた飾りを展示し四季を感じてもらえるよう図った。

●事業所に入りやすい工夫等は実際に見てみないと分からない。

●会議の資料や施設の新聞を活用し、情報発信されており利用者様の生きがいや役割が地域との繋がりとなっていると感じる。

●利用者様も地域の方も季節を感じ交流しやすい環境が作られていると思う。

●事業所の玄関入り口が暗く感じ、どちらかと言えば入りづらい感じる。

●入り口にプランターを置くなどして少し華やかにした方がいいと感じる。

●センターに行った際、玄関の飾りに目に入った。

●綺麗に環境を整えていると思う。

●新型コロナウイルスの感染状況や感染防止対策の状況により、センター内(地域交流スペースやキッズスペース)の活用が難しい為、状況に合わせたPRポスターの作成、回覧での情報発信を継続する。

●中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用していただけるよう季節に応じた植物を植える(設置する)。

●センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペースの空間を活用し創作品の展示を継続する。

C. 事業所と地域のかかわり

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に対応した地域啓発活動「まちなね」を行う。(紙上まちなねとして回覧板での情報発信も含めて検討する)
- コミュニティーセンターにて告知等させて頂く際には、ポスター掲示にてお願いしていく。

- コロナ禍により、センターに来館して頂くことができなかった。広報誌に登の会コーナーを設け、情報発信に努めた。
- 告知内容や方法の検討ができず、実施できなかった。

- 紙上登の会がわずかでも回覧板で開催されているのは登の会のPRにもなっているかと思う。
- 地域の方との相談の中で「福祉施設らしきものがある」というのは知られている。
- コロナ禍により活動やイベントが制限されて中、新聞配布やサービス機関との情報共有等、各方面での連携に取り組まれていると思う。

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に対応した地域啓発活動「まちなね」を行う。(紙上まちなねとして回覧板での情報発信も含めて検討する)
- コミュニティーセンターに広報誌をおかせていただくなど、一人でも多くの方に知っていただくきっかけを作る。
- 広報誌を作成する際に、センターの情報を分かりやすく記載した文章や興味を持っていただけるような内容を載せてPRに努める。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティセンターでの各種行事や地域での行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍のため、コミュニティセンターでの各種行事や地域での行事へご利用者様と参加することができなかった。 ●コロナ禍でもご利用者皆様に楽しんで頂けるよう、感染防止対策を徹底した上でプランターでの家庭菜園や花見ドライブを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のイベントが縮小・中止される中、事業所独自のイベント開催等、工夫・努力されているかと思う。 ●他事業所では長岡花火をTV視聴している。そういう形での長岡花火や米百俵まつり参加と言うのもありかもしれない。 ●会議の資料からイベントの様子が窺える。 ●事業所外での行事やイベントに参加して頂くことは難しい状況下にあると思うが、事業所内での行事や、外出ドライブ等楽しそうな行事を取り組まれていると思います。 ●感染状況に応じ、対策に配慮し活動されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティセンターでの各種行事や地域での行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。 ●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行う。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も専門職の方に運営推進委員として参加して頂き、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。 ●運営推進会議で出た提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所運営に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染拡大防止の観点から、対面しての運営推進会議を行わず書面での開催になったが、多方面からの情報収集、情報交換は行えた。 ●意見等があった場合にはミーティングや連絡ノートにて周知を行い、その結果を運営推進会議にて反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書面開催が主となっており、情報・意見の交換が難しい状況とは思いますが、会議で出た意見は改善も含めた回答が、委員にも分かりやすく記載されていると思う。 ●外からの目が入ることは大きなことだと思う。 ●書面開催での資料作成が分かりやすくまとめられており参考になる。 ●来年度はZOOMでの開催を期待する。 ●具体的な事例も多く記入されていて分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も専門職の方に運営推進委員として参加して頂き、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。 ●運営推進会議で出た提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所運営に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。

F. 事業所の
防災・災害対策

●センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録に残し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。

●地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加する。

●災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用して頂けることを、センターのPRポスターや回覧に載せ、地域の方へも情報発信する。

●コロナ禍によりセンターでの防災訓練に参加していただくことはできなかったが、訓練の様子は運営推進会議の資料に載せて書面にて報告することはできた。

●コロナ禍により参加することができなかった。

●新型コロナウイルスが流行している中で、実際にセンターを一時的な避難所として活用して頂く場合の感染対策等の課題が解決できておらず、ポスターや回覧での情報発信ができなかった。

●町内会長、防災担当、民生委員との顔つなぎはしておいた方がいいと思う。利用者でない方も一時的に避難可能等の情報を発信しておくことが大切。

●事業所の防災訓練に町内会長、町内副会長、自主防災会長、自主防災副会長を参加させて頂き、避難誘導を見学したい。

●災害時の行動表がとても良くできていると思う。災害が起きても混乱なく対応ができると感じた。

●災害時行動表で災害に応じた各対応がひと目でわかる。

●会議資料に訓練の内容や方法、結果等の記載があると良いと思う。

●地域の方の福祉避難所であるという情報発信は災害時頼りになる存在と安心に繋がると思う。

●センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録に残し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。

●地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加する。

●災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用していただけることを、センターのPRポスターや回覧に載せ、地域の方へも情報発信する。